

平成29年度第2回三重県ダイバーシティ社会推進本部会議概要

- 1 開催日時：平成29年9月26日（火）10:15～10:25
- 2 開催場所：プレゼンテーションルーム
- 3 議事概要：以下のとおり
（●議題提出部局説明・回答、☆意見・質問）

議題1 三重県ダイバーシティ推進方針（仮称）（素案）について

●事務局【ダイバーシティ社会推進課】（資料1に基づき説明）

- ・「三重県ダイバーシティ推進方針（仮称）」の素案について協議したい。
- ・社会経済環境の変化はかなり速く、またどう変化するのか予測が困難であり、今後は、画一的、均質であるより、想定外のさまざまな変化にも対応できる、多様性（ダイバーシティ）を受容する社会を実現していく必要がある。
- ・推進方針は、県が県民の皆さんとともに、ダイバーシティ社会の実現をめざし取り組んでいこうという意味表明であり、ダイバーシティはプラスであるという考え方などを示す。
- ・推進方針の構成は、基本方針と県の推進の方向性の二部構成とし、めざすダイバーシティ社会として、性別や年齢、障がいの有無、国籍・文化的背景、性的指向・性自認にかかわらず、「一人ひとり違った個性や能力をもつ個人として尊重され、誰もが希望をもって日々自分らしく生きられる、誰もが自分の目標に向けて挑戦できる、誰もが社会の中で活躍できる社会」をダイバーシティ社会と考える。
- ・素案については、10月5日の常任委員会で説明後、ホームページ等で意見募集を予定している。

☆戦略企画部長

- ・資料2の1ページの松浦武四郎の記載で、「アイヌ民族と出会い、異文化への正しい理解を求めました」という部分の意図するところ（誰に対して何を求めたか）がわかりにくいので、もう少しわかりやすい記載とするべきではないか。
- ・ダイバーシティ&インクルージョンについて、ダイバーシティ（多様性）をプラスと捉えるところまで含めるのがダイバーシティ&インクルージョンだと理解しているが、資料2の5ページで「ダイバーシティ&インクルージョンの考え方」とあえて記載していることで、整理がしにくくなっていると感じる。

●事務局【ダイバーシティ社会推進課】

- ・今後成案に向けて記載を検討していきたい。

☆知事

- ・県が一定の考え方を県民のみなさんに新しく発信していくことは、行政の役割として大事

なことであるので、各部局も環境生活部任せではなく、我が事として、方針策定の過程も含めてしっかり取り組んでほしいし、発信などにも協力してほしい。

- ・各部局等の取組の中にも、ダイバーシティの種がたくさん埋まっているはずであり、ダイバーシティの視点で、発想の転換や見直しを行なってほしい。